

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 46号

第 46 週 (11月13日 ~ 11月19日)

発行年月日:平成18年(2006年) 11月 22日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

県内3保健所管内に感染性胃腸炎流行発生警報の発生!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(11月6日~11月12日)の報告数よりさらに1.6倍増となり、特に感染性胃腸炎で急増しています。**草津、東近江および高島保健所管内**で「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による**感染性胃腸炎流行発生警報**が発生しています。また、大津保健所管内においても非常に多くなっています。感染性胃腸炎以外の疾患については、先週と比較して大きな変化はみられません(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名の届出がありました。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

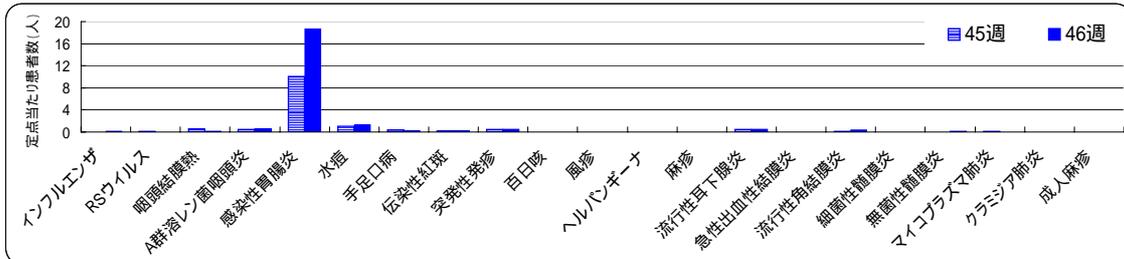
流行発生警報

感染性胃腸炎の場合、定点当たり患者数が20人以上という基準値を超えた時に発表されます。

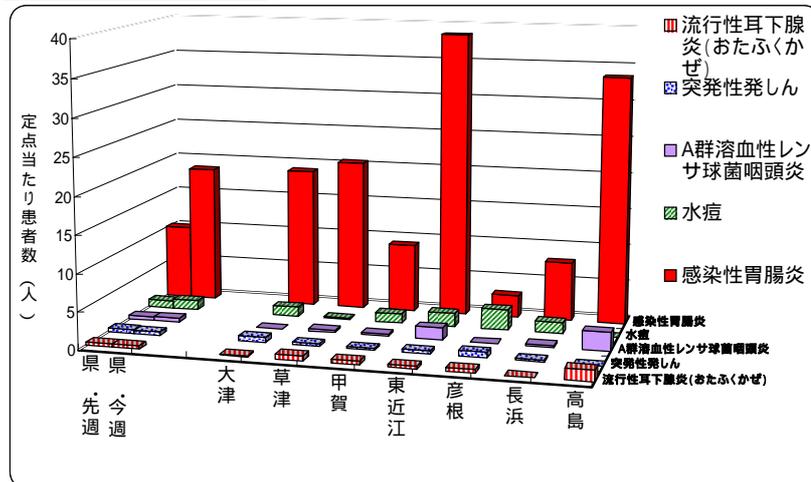
流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第46週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎咽頭結膜熱、突発性発疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

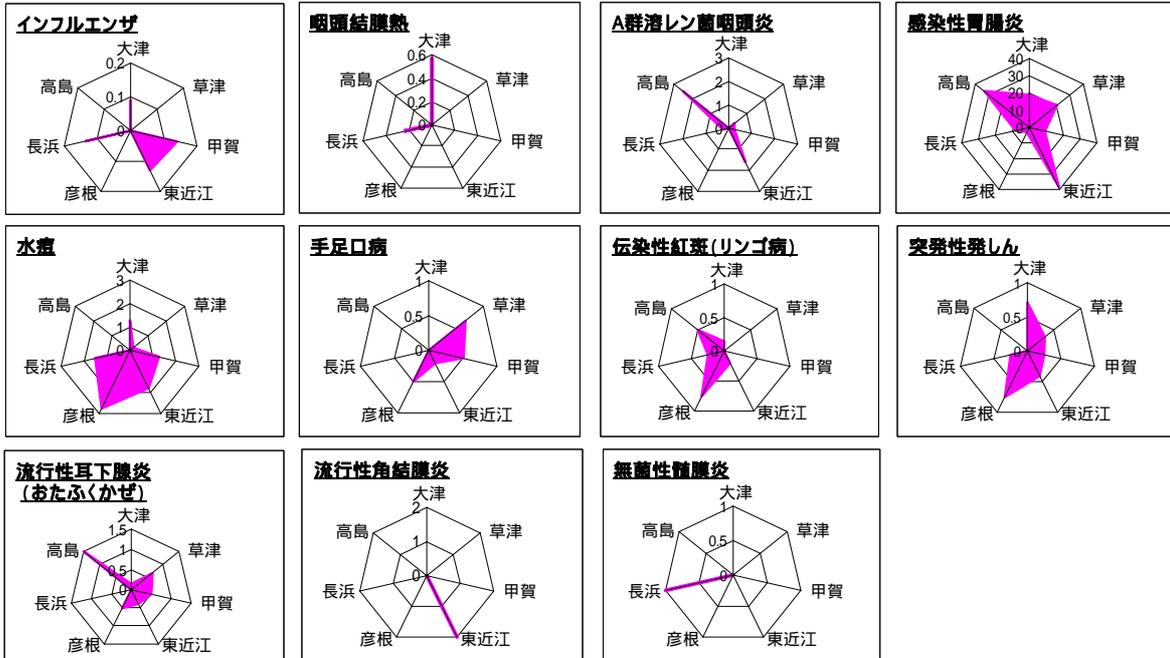
感染性胃腸炎は全ての保健所管内で増加し、特に大津、草津、東近江および高島で急増しています。今後の発生状況に十分な注意が必要です。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第46週, 11/13~11/19)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0.08	0.09	0	0.14	0.13	0	0.14	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱	0.16	0.57	0	0	0	0	0.25	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0	0.33	0.25	1.60	0	0.25	2.50			
感染性胃腸炎	18.66	19.00	20.50	9.25	38.60	3.00	8.00	33.50			
水痘	1.28	1.29	0.17	1.25	1.80	2.75	1.50	0			
手足口病	0.28	0	0.67	0.50	0.20	0.50	0	0			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.14	0	0	0.20	0.75	0.25	0.50			
突発性発しん	0.44	0.71	0.33	0.25	0.40	0.75	0.25	0			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.14	0.67	0.50	0.40	0.50	0	1.50			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0			
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加、
■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
 0 5 10 15 20
 定点当たり患者数(人)

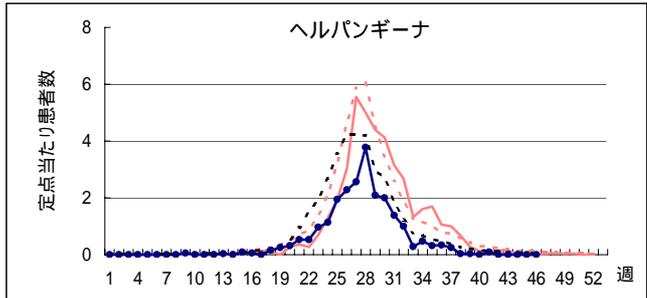
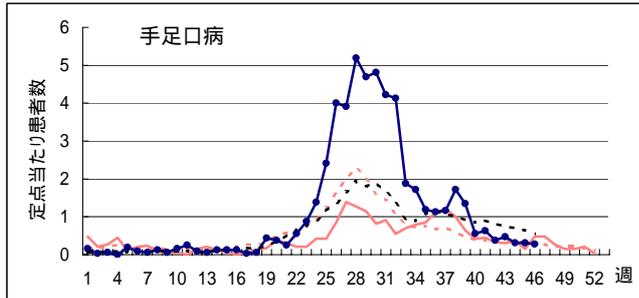
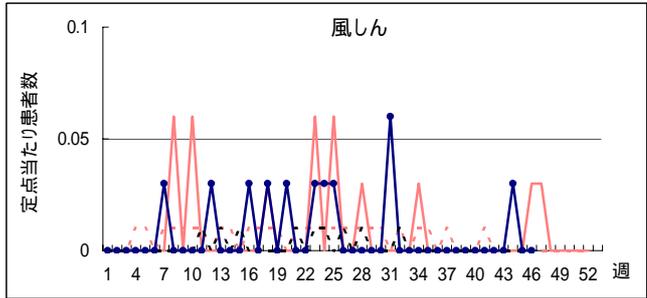
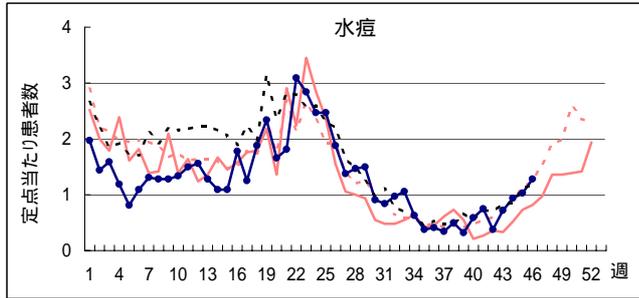
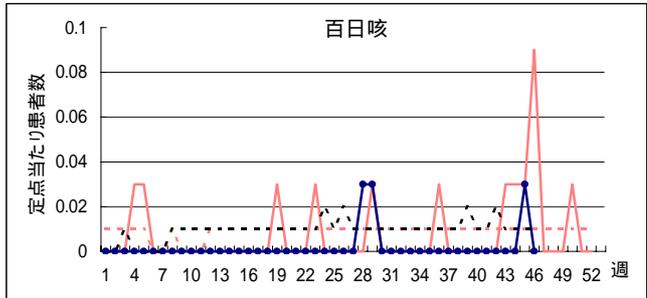
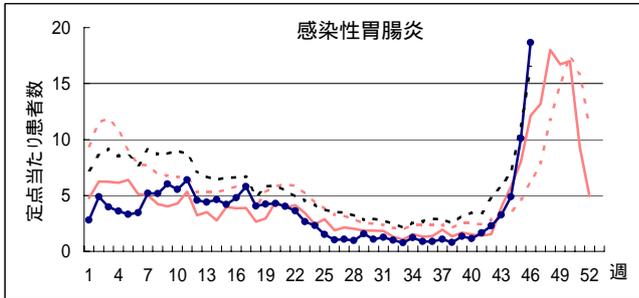
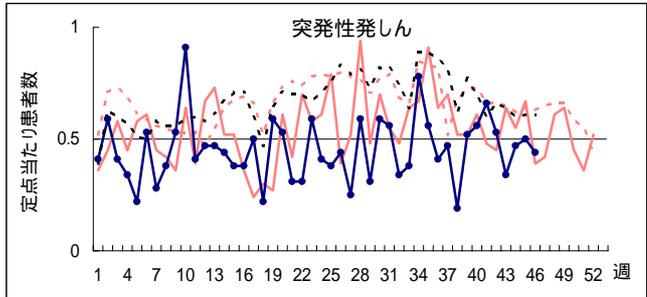
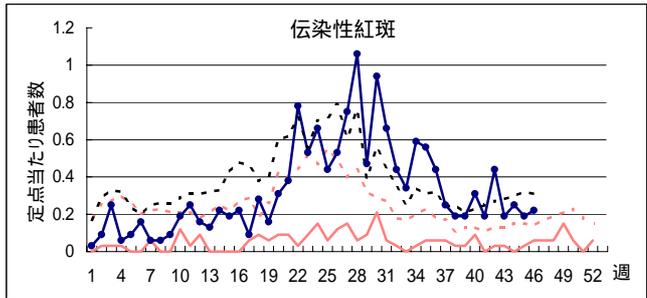
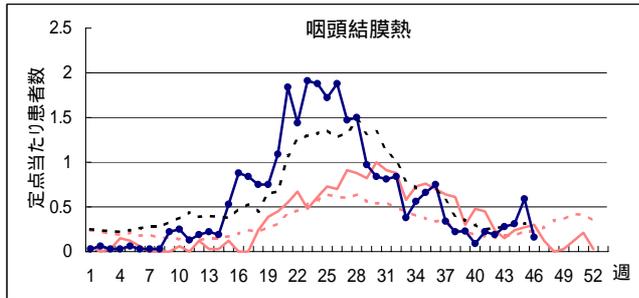
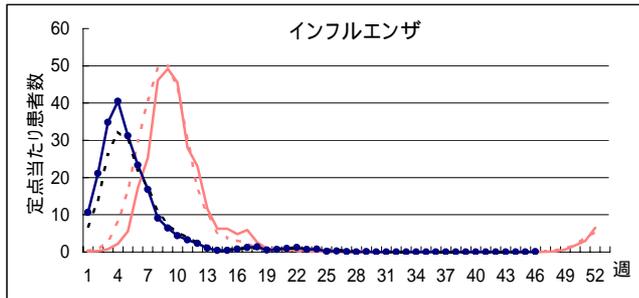
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----大津、甲賀、東近江および長浜から報告されています。
- 咽頭結膜熱-----大津および長浜から報告されていますが、県全体では先週より減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----県全体では先週よりやや増加し、高島でやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----彦根では先週より減少していますが、その他の保健所管内では急増しています。年齢別では、5ヶ月未満 1%、11ヶ月未満 6%、1歳 20%、2歳 15%、3歳 10%、4歳 8%、5歳 8%、6歳 5%、7歳 4%、8歳 3%、9歳 2%、10~14歳 5%、15~19歳 1%、20歳以上 12%となっています。
- 水痘-----東近江、彦根および長浜でやや多くなっています。
- 手足口病-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- 伝染性紅斑-----高島で先週より少なくなっていますが、県全体では先週よりやや増加しています。
- 突発性発しん-----県全体では先週よりやや少なくなっています。
- 流行性耳下腺炎-----先週やや多かった東近江ではかなり減少し、高島では先週より増加しています。
- 流行性角結膜炎-----東近江から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第46週、H18.1.2～H18.11.19)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第46週、H18.1.2～H18.11.19)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

